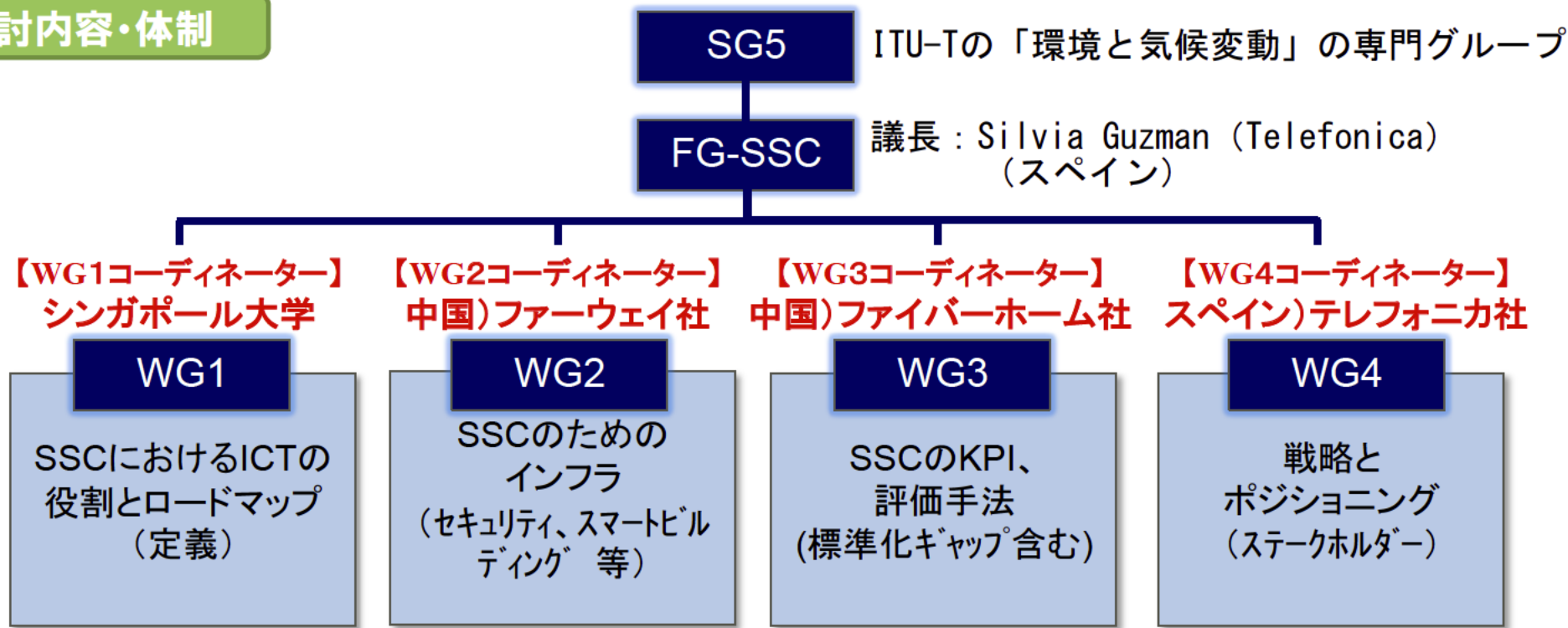


## 概要

2013年2月に開催されたITU-T SG5 (Study Group5: ITU-Tの「環境と気候変動」の専門グループ) 会合において、スマートサステナブルシティに関するフォーカスグループ(FG-SSC) 創設の提案があり、設置が承認。活動期間は同年5月から1年間(のち1年間延長された)。

## 検討内容・体制



## スケジュール

第1回会合は2013年5月8日(イタリア・トリノ)、第2回会合は同年9月17日(スペイン・マドリード)、第3回会合は同年12月6日(ペルー・リマ)に開催。  
第4回会合は2014年3月(スイス・ジュネーブ)に開催予定。

## 検討状況

- 第1回～第3回会合において、以下の成果物構成案に沿って、各国からの提案に基づき検討を進めているところ。

【現在(第3回会合終了後)の成果物構成案】

	成果物 (TR:Technical Report TS:Technical Specification)	
WG1(定義)	1. 1 定義と特徴に関するTR	1. 2 定義と特徴に関するTS
WG2(インフラ)	2. 1 インフラのTR 2. 3 スマートビルディングのTR 2. 5 気候変動適応のTR	2. 2 セキュリティのTR 2. 4 スマートウォーターのTR 2. 6 EMFのTR
WG3(KPI)	3. 1 標準化のTR	3. 2 KPIのTR
WG4(ステークホルダー)	4 ステークホルダー	

## 【日本からの主な提案】

スマートサステナブルシティのビジョン

スマートサステナブルシティに関する現在の活動(事例)

スマートサステナブルシティのビジョン進捗度を評価する指標(KPI)

スマートサステナブルシティのICTインフラの技術

(我が国におけるICTスマートタウンに関する取組み等)



## 概要

- ISOにおけるスマートシティの標準化については、TC268(コミュニティにおける持続可能な発展)において検討。
- 検討体制は、WG1(マネジメントシステム標準)、WG2(グローバルな都市評価の指標)の他、2012年2月に設置されたSC1(スマートコミュニティのインフラ)が存在。
- 都市間のベンチマーキングやそれを実施するための手法、報告、検証の方法の提示が目的。
- 参加国は、日本、オーストリア、カナダ、中国、デンマーク、フランス、ドイツ、オランダ、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、英国 等。
- 2014年2月頃、評価指標の基本コンセプトをまとめたTR37150が発行見込み。
- 2014年7月に向けて、一般原則に関する技術仕様書(TS37151)(案)を作成予定。

TC268: Sustainable Development in communities 【議長 フランス】  
(コミュニティにおける持続可能な発展)

SC1: Smart Community Infrastructure 【議長 日本】  
(スマートコミュニティのインフラ)

WG1: Infrastructure Metrics 【主査 日本】  
(インフラの評価軸)

AHG1: Common Framework 【主査 日本】  
(共通のフレームワーク)

WG1: Management Systems Standards for Sustainable Development in Communities 【主査 フランス】  
(コミュニティにおける持続可能な発展のためのマネジメントシステム標準)

WG2: Urban Indicators 【主査 カナダ】  
(都市評価の指標)



# ISOにおける評価指標の標準化

Community Infrastructure		Energy	Water	Transportation	Waste	ICT	Others	
<b>Area B:</b> General principles Community infrastructure performances: (to be technically improved)		•Electricity •Gas •Fuel .....	•Water supply •Reuse •Waste water .....	•Road •Railroad •Air •Bay & river .....	•Waste collection •Recycle .....	•Telecom .....		
<b>Area A:</b> Residents perspective Trade-off Synergy Community manager perspective Environmental perspective TR 37150 TS 37151		Apply (1) Reliability (2) Availability (3) Service quality (4) Others ..... (5) Operational efficiency ..... (6) Maintainability (7) Resilience (8) Value for money (9) Expandability (10) Others (11) GHG emissions* (12) Pollutant emissions* (13) Resource efficiency (14) Others						
		Area C: Application of general principles to particular types of community infrastructures and communities						
		Collaboration with assistance of existing sector committees						